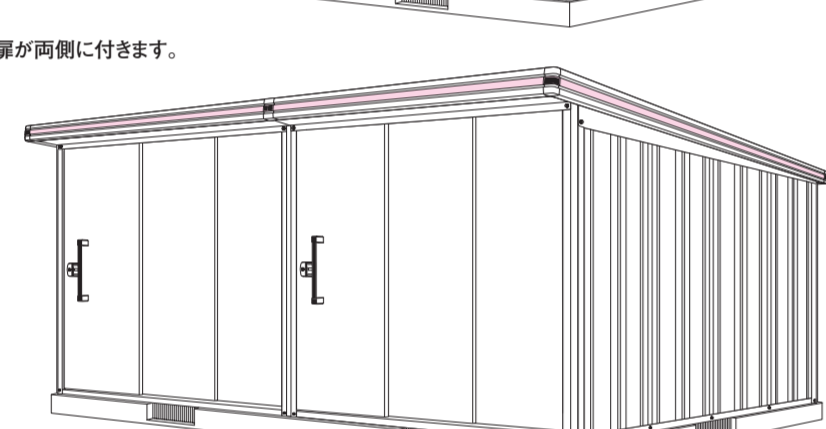
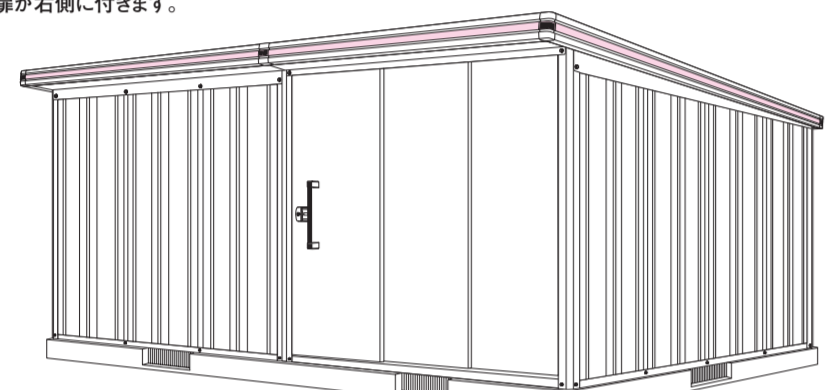
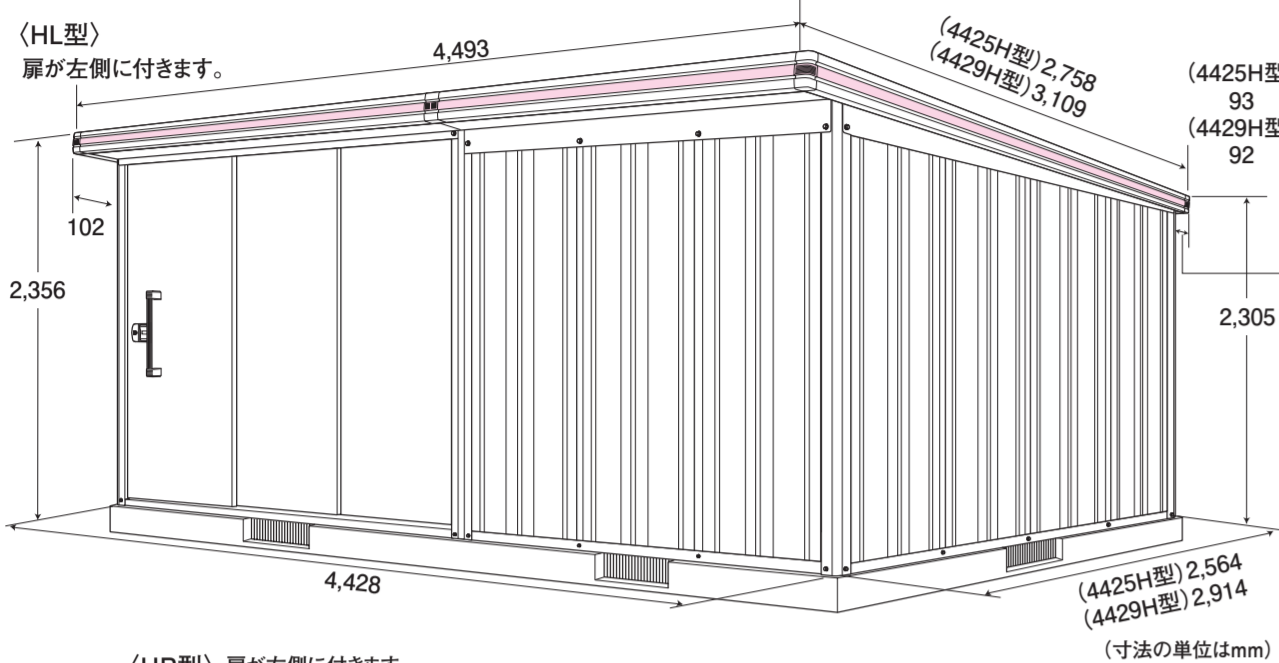


ヨド物置 エルモ

組立説明書 LMD-4425H型・4429H型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「4429HL型」の組立手順を基準に説明しています。
「HR型」「HW型」も基本的な構造及び組立手順は同じです。よくお読みの上、組立を行ってください。

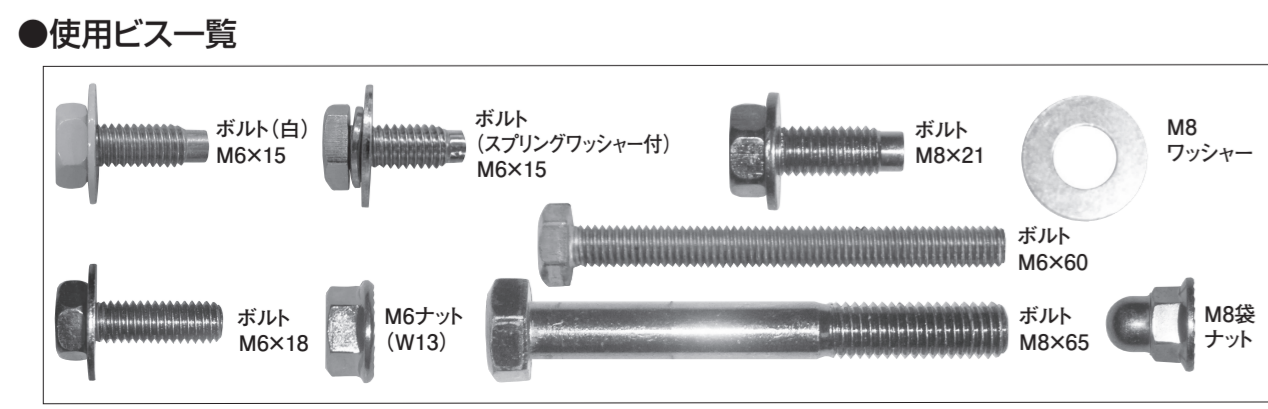


- 設置場所の制限**
- △注意
- 建物の屋上には設置しないでください。 ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
 - 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
 - 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
 - 給湯器の前には設置しないでください。

- 組立施工の際には**
- △注意
- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。 ●組立の際には手袋を着用してください。
 - 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
 - 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
 - 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
 - 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
 - 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

- 施工にあたって**
- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。「HL型」は扉が左側、「HR型」は右側、「HW型」は両側になります。
 - 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
 - 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
 - 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
 - 5.部材の組立では、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

- 組立に必要なもの** 軍手・水準器・脚立・M6,M8ボルト締結用のスパナ又はモンキー・ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)

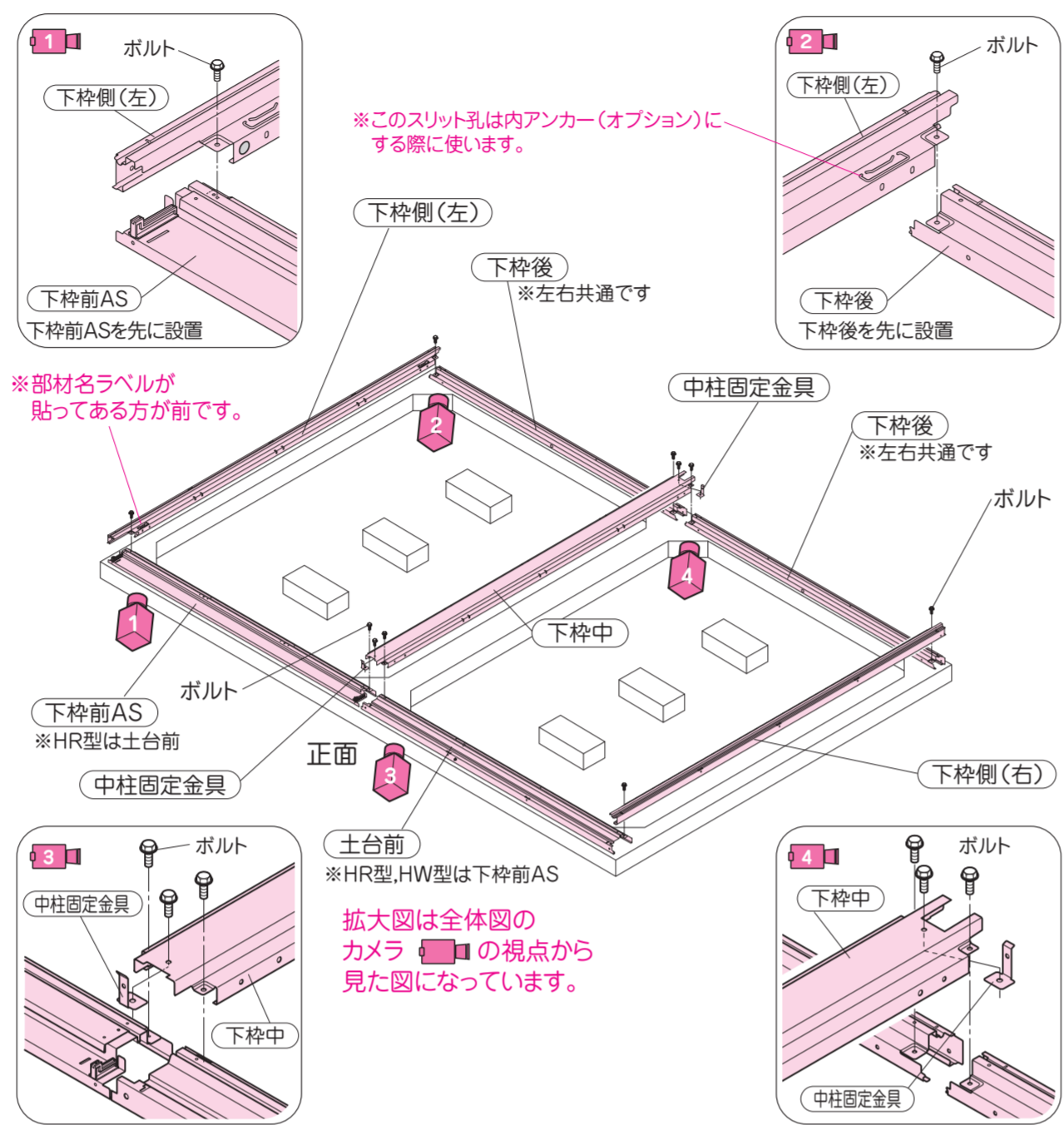


1 基礎の施工

別紙「梱包組合せ表・梱包内容表」裏面「基礎の施工について」をご参照のうえ、基礎を施工してください。

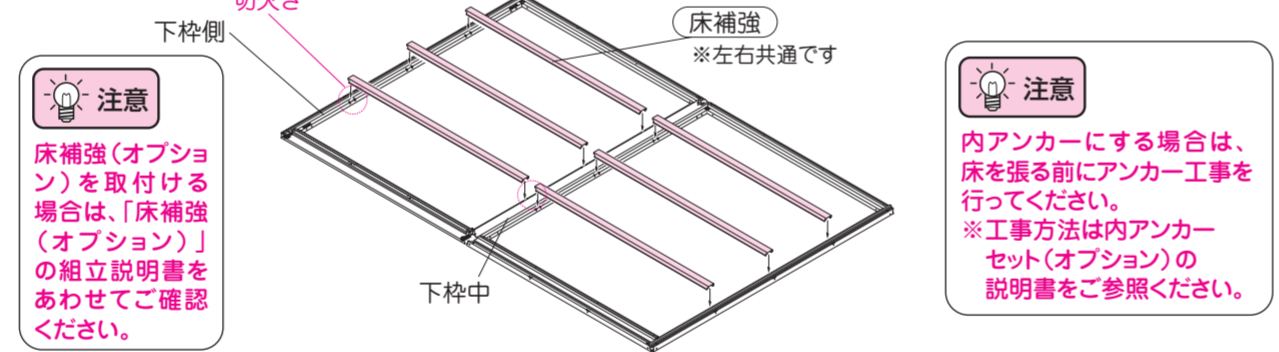
2 下枠の組立

- ※この工程はHL型で説明しています。
- 1.下枠前AS・(土台前)・(下枠後)をコンクリートブロックの上に設置します。HL型は下枠前ASを左側に、HR型は右側に、HW型は左右両方に並べます。
 - 2.下枠側・(下枠中)を下枠前・後の上から設置してボルト止めします。
 - 3.下枠中に(中柱固定金具)をボルト止めします。

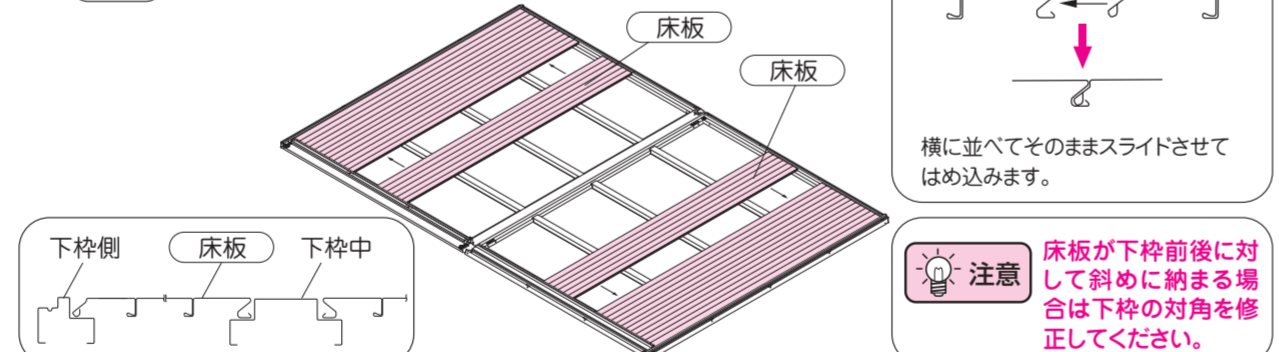


3 床の設置

- 1.床補強を下枠側・下枠中の切欠きに差し込んで取り付けます。



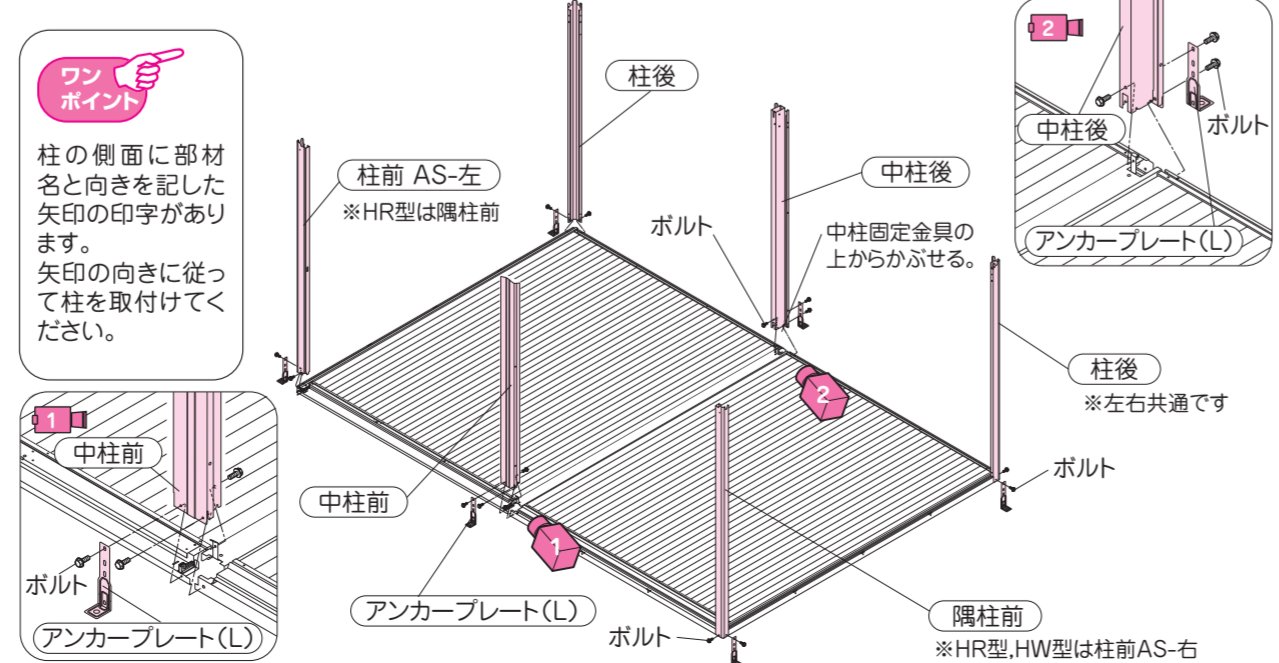
- 2.床板を端から中央に向かって順番に並べていきます。



4 柱の取付け

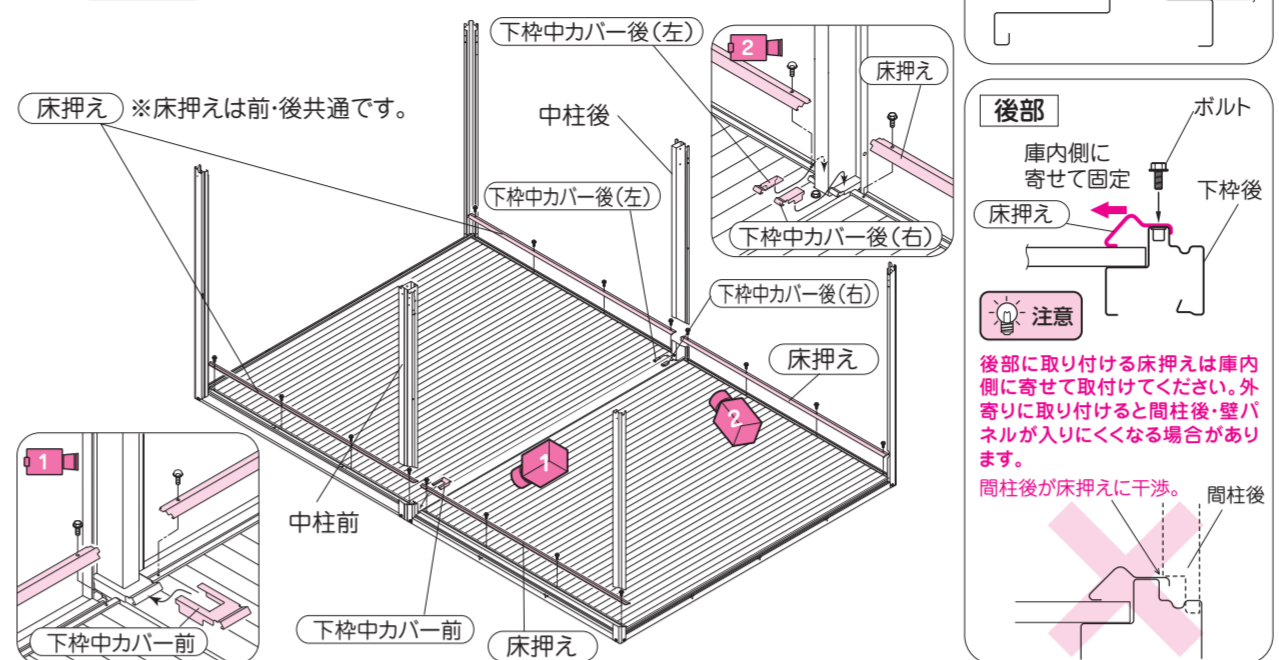
※この工程はHL型で説明しています。

- 1.(柱前AS)・(隅柱前)・(柱後)を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート(L)をボルト止めします。
- 2.(中柱前)・(中柱後)も同様に差し込みボルト止めします。



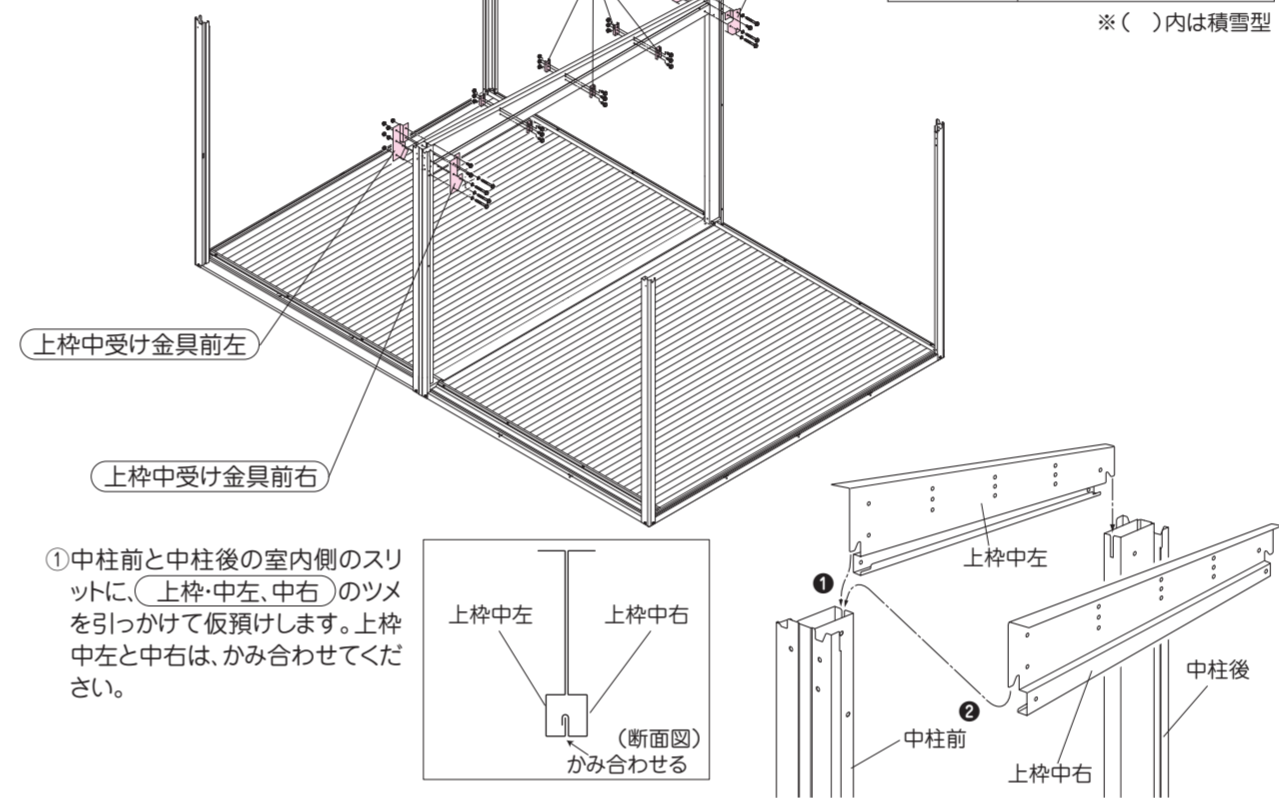
5 下枠中カバー・床押えの取付け

- 1.(下枠中カバー前)を中柱前の根本に設置します。
- 2.(下枠中カバー後(右))・(下枠中カバー後(左))を中柱後の根本に設置します。
- 3.(床押え)を下枠前OD・土台前・下枠後に取り付けます。

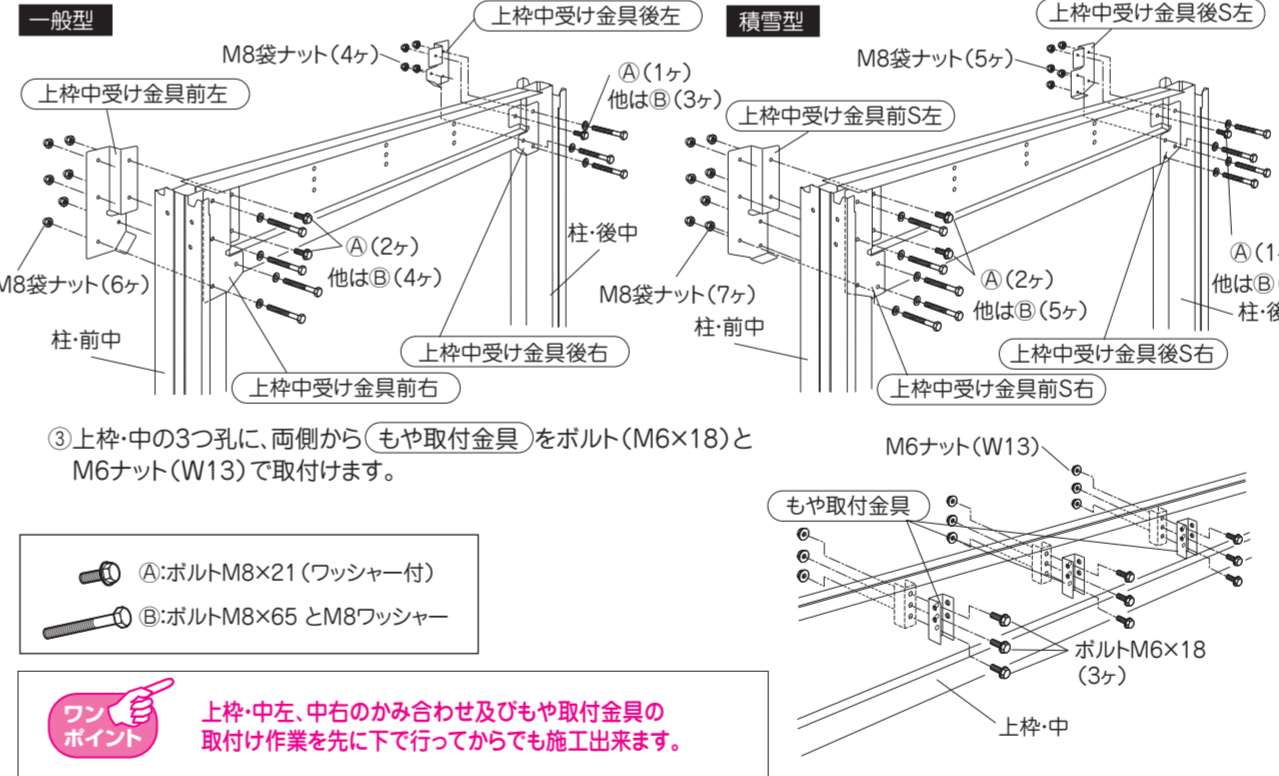


6 上枠中の組立

- 1.中柱前と中柱後の室内側のスリットに、(上枠中左・中右)のツメを引っかけて仮預けます。上枠中左と中右は、かみ合わせてください。



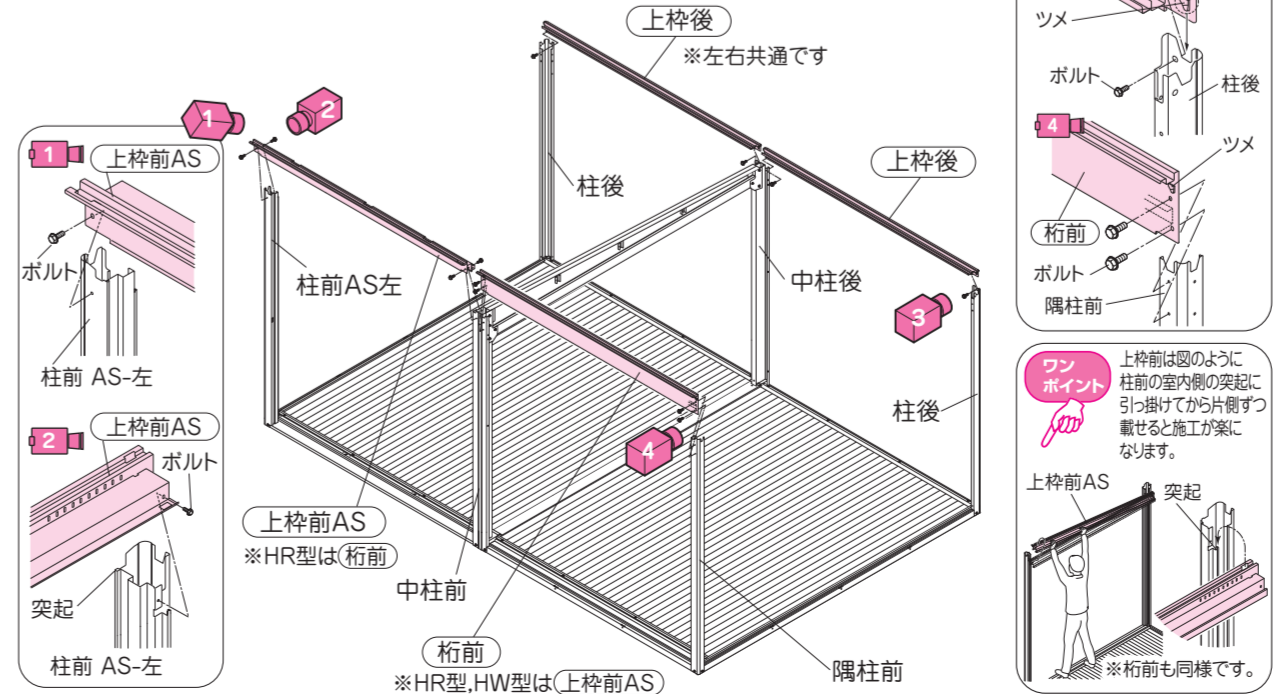
- 2.上枠中と中柱前を(上枠中受け金具前右(左))ではさんで、ボルト(M8x65)・M8袋ナット・M8ワッシャーで固定します。上枠中と中柱後も同様に固定してください。※一般型と積雪型とで金具形状およびボルト・類使用数が異なります。



7 上枠前後の取付け

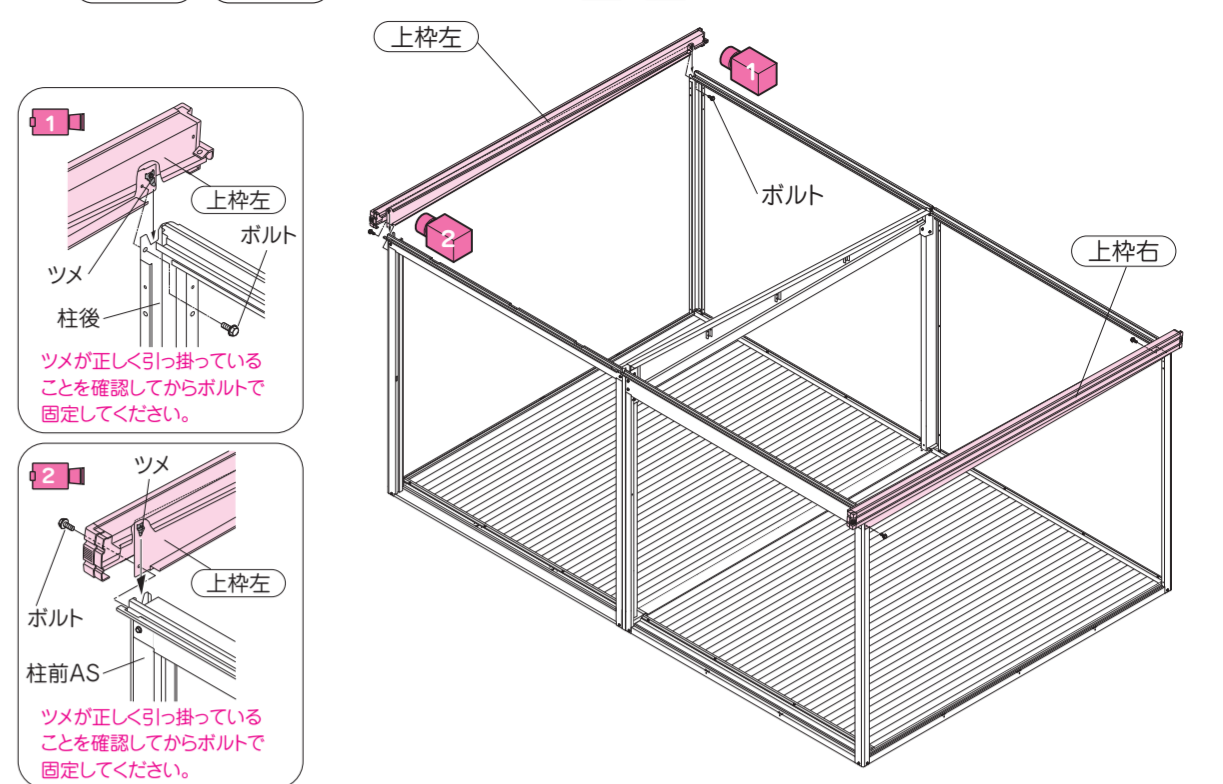
※この工程はHL型で説明しています。

- 1.(上枠前AS)を柱前AS-左、中柱前の突起に差し込んでボルト止めします。
- 2.(桁前)のツメを隅柱、中柱前の切欠きに引っ掛けてボルト止めします。
- 3.(上枠後)のツメを柱後、中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。



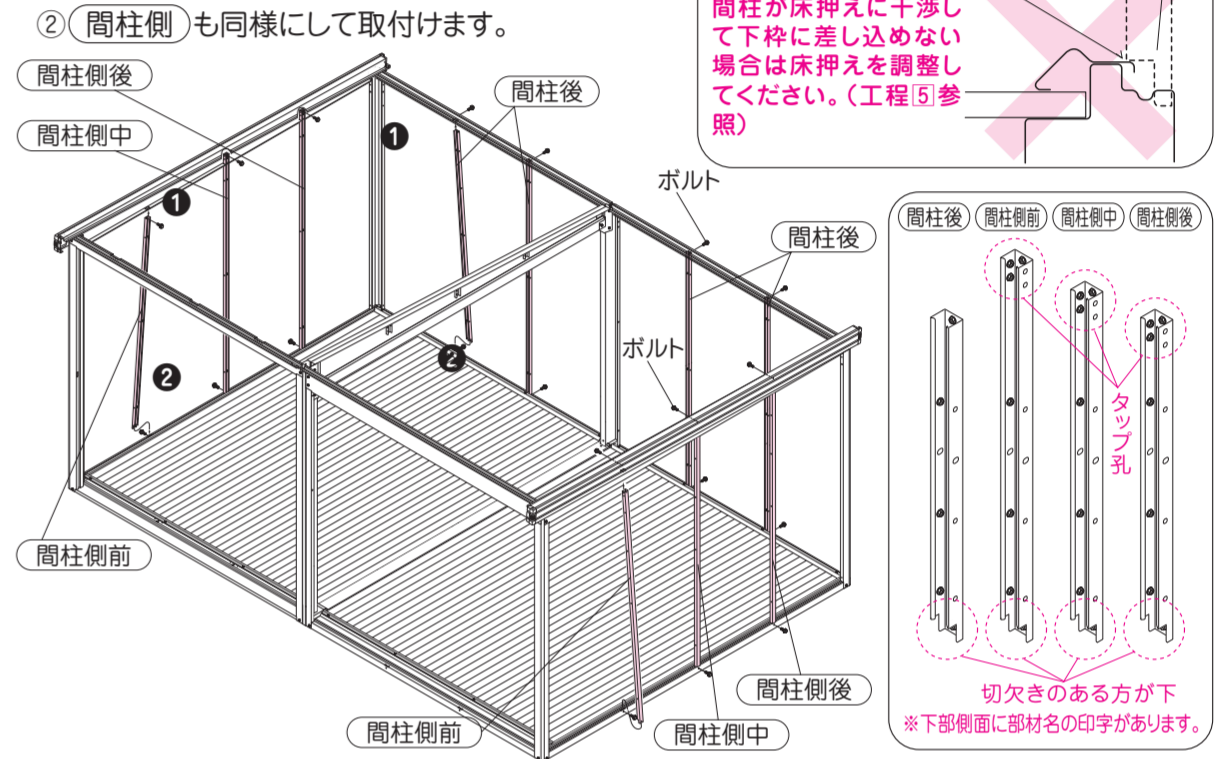
8 上枠左右の取付け

- 1.上枠左・上枠右を柱に取り付けます。



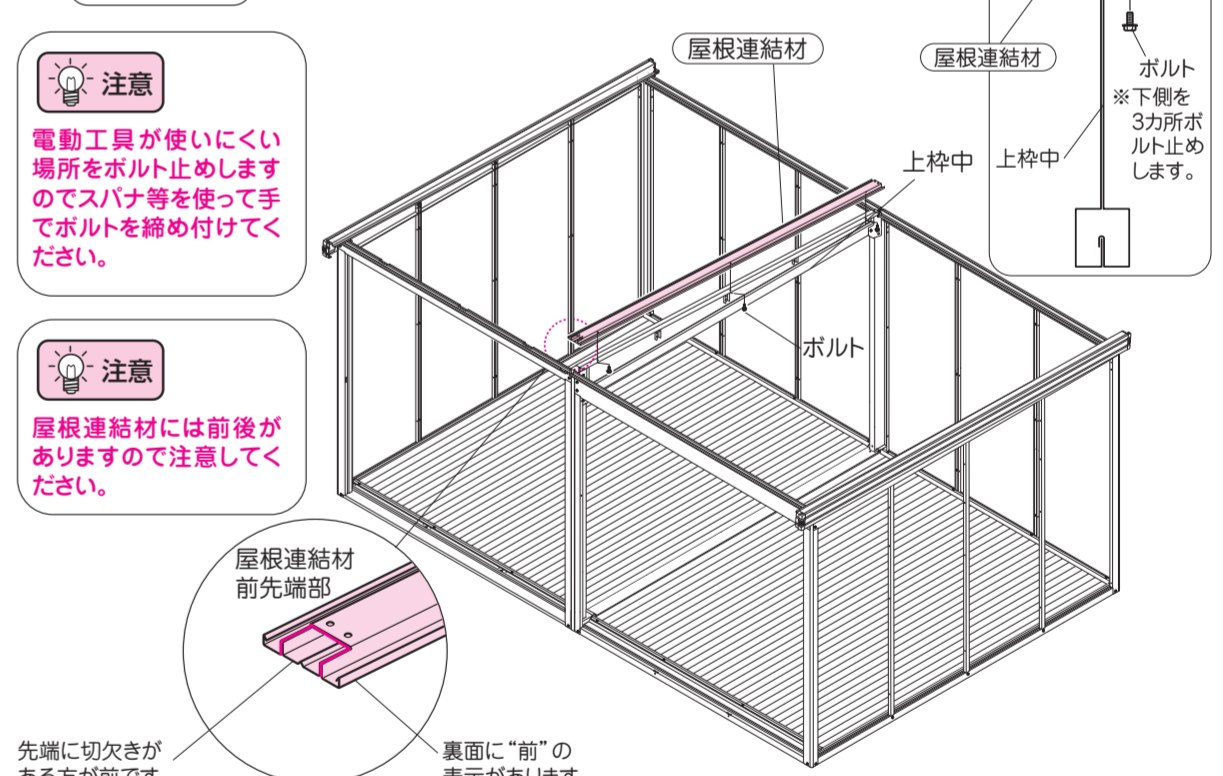
9 間柱側・後の取付け

- 1.間柱後の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
- 2.間柱側も同様に取付けます。



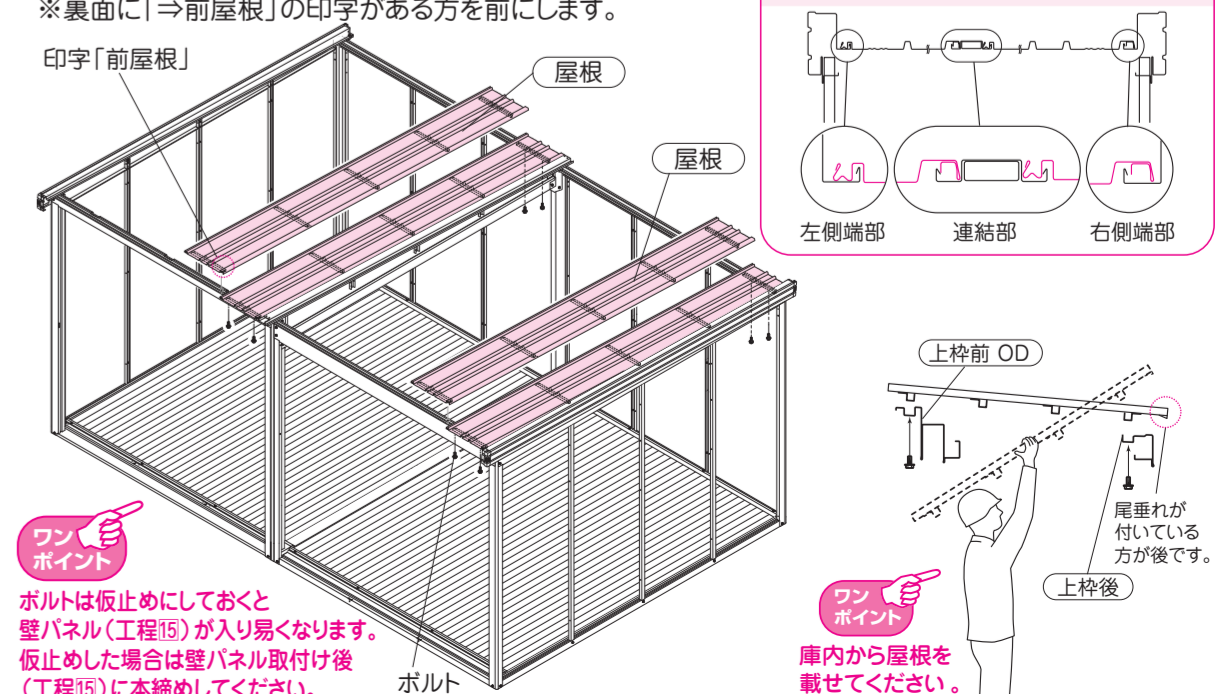
10 屋根連結材の取付け

- 1.屋根連結材を上枠中に取付けます。



11 屋根の取付け

- 1.屋根を連結部の右側、左側それぞれ右端から順番に載せて桁前、上枠前、上枠後にボルト止めします。※裏面に「⇒」前屋根の印字がある方を前にします。



12もやの取付け

使用ボルト数 96本

① **もや** を正面から間柱側に載せてボルト止めします。**1**・**2**

② **もや** と屋根をボルト止めします。

注意 **もや** は6本共同し形状です。一番前には「一般型」「積雪型」のラベルが貼り付けてある**もや**を取り付けてください。

ワンポイント 屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを締めてください。※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

ワンポイント ラベル「一般型」「積雪型」

13間柱前の取付け

使用ボルト数 ボルト(スプリングワッシャー付) 4本(8本)
ボルト(白) 4本(0本)
※()内はHW型

注意 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっておりますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて補足説明書(16・19・20)を読んでください。

① **間柱固定金具** を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。**1**・**2**

② **間柱前** の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。

ボルト(スプリングワッシャー付)
※赤○部は4本共ボルト(スプリングワッシャー付)で固定してください。

右開口の場合
左側の孔に固定します。

ワンポイント ボルト(白)をゆるめて扉内から扉を開けて調整してください。

14戸当たりの取付け

使用ボルト数 3本(6本)
※()内はHW型

① **戸当たり(M)** を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないよう前後調整して固定してください。- 工程20参照

右開口の場合
開口部側

ワンポイント 戸当たり(M)をゆるめて扉内から扉を開けて調整してください。

15壁パネル・袖壁の取付け

使用ボルト数 107本(94本)
※()内はHW型

①室内から**壁パネル**・**袖壁パネル**をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)

②柱・間柱にボルト止めします。**1**開口部側面の壁は柱補強と一緒に固定します。- 工程16

注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

ワンポイント ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを締めると合わせやすくなります。※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。

注意 壁パネルと下枠に三角形のすきまが発生したり隣同士の間受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

壁パネルの取付位置

壁パネルの種類

壁パネルA 壁パネルB 袖壁A

※壁パネル、袖壁共に上下の区別はありません。

16柱補強の取付け

使用ボルト数 5本
(M6×60 1本 M6ナット ボルト(白) 4本)
※()内は右開口にする場合

① **柱補強金具AS** を柱前AS-左(右側開口の場合は中柱前)にボルト止めします。**1**

② **壁固定用ボルト**孔はボルトで塞ぎます。**2**

③ **穴隠し** を中柱前に取付けます。※右開口の場合は不要です。

右開口の場合
中柱前
柱中補強金具 AS
平ワッシャー
ボルトM6×60

ワンポイント 壁固定用ボルト孔をボルトで塞ぐ。(3か所)

17鼻隠し接続金具の取付け

使用ボルト数 6本

① **鼻隠し前接続金具** を屋根連結材の前端部に上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトは一旦ゆるめて鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけてボルトを締め直します。**1**

② **鼻隠し後接続金具** を屋根連結材の後端部にボルト止めします。**2**

注意 トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプショントイセット」の組立説明書を先にお読みください。

ワンポイント このボルトを締めて金具を引付けて締め直す。

18鼻隠しの取付け

使用ボルト数 22本

① **鼻隠し前** をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかがせるように取付けボルト止めします。連結部分は**鼻隠し前連結化粧樹脂**を上からかがせてボルト止めします。

② **鼻隠し後** をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかがせるように取付けボルト止めします。

③ **鼻隠し後** と屋根をボルト止めします。

鼻隠し後と屋根の固定
鼻隠し後
ボルト
ボルト(3か所固定)
壁パネルの中央付近の山が固定位置です。

ワンポイント 上側のボルトは仮止めしておき樹脂に引付けて締め直す。

19扉吊元変更(右開口に変更する場合のみ)

使用ボルト数 0本

注意 右側開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。左側開口の場合はこの工程は必要ありません。

①扉後から**戸車プレート(右)**を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。

②扉後の**扉後隙間隠し**・**扉支持金具**を取り外して扉後の反対側に取付けます。

③扉前の最初に付いていた**戸車プレート(左)**を取り外して扉後に取付けます。

ワンポイント 戸車プレートは(右)(左)を間違えて取付けると孔が合わないようになっています。

20扉の吊り込み

使用ボルト数 3本(6本)
※()内はHW型

① **扉支持材AS** を**扉前** に取付けます。

右開口の場合
扉支持材(AS)の取付け方
ツマミを長手方向曲げ部の中に入れます。

② **扉後**・**扉前** の順番で吊り込みます。

右開口の場合
扉支持材AS

ワンポイント ※上レールの角孔に戸車を差し込む。

扉の吊り込み手順

①扉後の戸車プレートに角孔を差し込み。

②アルミレールに載せず下に落とす。

③下部を奥に押し当てる。

④扉後を持ち上げ戸車プレートをアルミレールに載せる。

⑤扉前も同様に吊り込む。

③ **戸当たり(M)** と扉補強の隙間が4mm程度になる位置で**戸当たり(M)**を固定してください。

左側開口
扉後が吊り込みにくい場合は、一度戸車プレートを緩め、扉支持金具がついている側を上げ、反対側を下げてボルトを締め、吊り込んでください。

右側開口
扉前が吊り込みにくい場合は、扉支持材のボルト(3か所)を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

ワンポイント 扉フランジと戸当たり(M)が干渉して扉が最後まで閉まらない場合は戸当たり(M)を少し屋外側にずらして固定してください。

21戸車上昇防止プレートの取付け

使用ボルト数 0本

① **戸車上昇防止プレートAS** を上枠前ASに取付けます。(3か所) **1**

注意 戸車上昇防止プレートASは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉が外れる原因になります。また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートASを外してください。

ワンポイント ※はすず時はツマミを持って手前に引きます。

22取手の取付け

使用ボルト数 0本

①**取手** を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますのでご注意ください。

②扉裏の**取手取付け材**を回して取手を固定します。

注意 取手を取付ける向きに注意してください。※逆向きには取付けができません。

取手の固定
取手取付け材
取手
取手取付け材(扉裏側面)

ワンポイント 矢印が図の位置に来るまで回転させてください。(時計まわりに約20°回転)

23連動車の取付け

使用ボルト数 4本

①扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。(ネジ部を5mm程度残してください)

②**連動車** のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めたボルトに引っ掛けます。

③**連動車** をボルトで固定します。(仮止めたボルトも締め込んでください。)

④扉後下部のボルト孔を塞ぎます。

ワンポイント ローラー部分を押し下げると取付けしやすくなります。

注意 連動車には絶対に注油しないでください。運動しなくなります。

24扉の建付け調整

①扉を開けて柱と扉との隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。

ワンポイント ボルトをゆるめて扉内から扉を開けて調整してください。

注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の建ちを確認してください。

25その他部品の取付け

使用ボルト数 0本

①扉裏面の**注意・警告ラベル**に機種名を記入します。

②**屋根隙間隠しA**を上枠後の屋根の重ね部に、**屋根隙間隠しB**を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。**1**

③**下レールキャップ**を下枠前に取付けます。**2**

④**鍵孔フサギ**を袖壁側の柱前(中柱前)に取付けます。**3**

ワンポイント 扉が来ない方の柱前に下レールキャップ、鍵孔フサギを取付けます。

注意 扉裏面の「注意・警告ラベル」に機種名を記入してください。

◆錠操作方法について 取扱説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。

組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

①扉の建て付け調整ができていないかご確認ください。

②鍵が正常に作動するかご確認ください。

③戸車上昇防止プレートASが取りついているかご確認ください。

④機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)

⑤ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

こんな時は

・扉が外れてしまった。戸車上昇防止プレートAS、連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程20・23)

・扉がスムーズに運動しない。1.本体の建ちを確認してください。2.連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。3.連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。

・取手が外れる。取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程22)

・扉が最後まで閉まらない。戸当たり(M)を調整してください。(工程20)

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(4425H-4429H)
ヨドコウ
LMD-4425_KS_2025A